

	調査年	都道府県	管理番号	市区町村	整理番号	抽出階層
基本指標番号						

記入の際は、以下の点に御留意ください。

- 記入の際は、黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
- で囲まれた記入欄は集計項目ですので、必ず記入してください。
記入に当たって、数字が枠からはみ出さないように記入してください。
- で囲まれた記入欄は補助欄ですので、必ずしも記入の必要はありませんが、
飼養実態を調査票に正しく御記入いただくために活用してください。

記入していただいた調査票は、 月 日 までに提出ください。
記入に当たって不明な点等ありましたら、裏面の連絡先までお問合せください。
また、調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。詳しくは同封のチラシをご覧ください。
なお、オンラインにて回答いただいた場合は調査票の返送は不要です。

法人番号〔 法人番号を確認いただき、記入してください。
なお、会社等法人経営以外は記入不要です。 〕

1 飼養頭数

2月1日現在で飼っている頭数を記入してください。

		十 万 万 十 百 十 頭
子取り用めす豚	(1)	
種 お す 豚	(2)	
肥 育 豚	(3)	
もと豚として出荷予定 の子豚・その他	(4)	
合 計		
((1)+(2)+(3)+(4))		

💡 記入のポイント 💡

子取り用めす豚 (1)

6か月齢以上の繁殖用のめす豚（予定のものを含む。）をいいます。

種おす豚 (2)

6か月齢以上の種付け用のおす豚（予定のものを含む。）をいいます。

肥育豚 (3)

肉用に出荷する目的で肥育中の豚をいいます。

一貫経営などにおいて、自家で肥育する予定の子豚も肥育豚に含みます。

もと豚として出荷予定の子豚・その他 (4)

上記(1)～(3)以外の豚で、肥育用や繁殖用などのもと豚として出荷する予定の子豚、肉用に出荷する目的で肥育中の繁殖めす豚や種おす豚の廃豚などをいいます。

以降の「2 経営タイプ」及び「3 経営組織」の項目については、学校、畜産試験場等の非営利飼養者の方は記入不要です。

2 経営タイプ

該当する経営タイプの番号を1つ選択し、点線に沿って○で囲んでください。

子取り経営	肥育経営	一貫経営
(1)	(2)	(3)

3 経営組織

該当する経営組織の番号を1つ選択し、点線に沿って○で囲んでください。

農 家	会 社	その他
(1)	(2)	(3)

調査に御協力いただき、大変ありがとうございました。
調査事項はここまでですが、お手数でなければ、裏面の【記事欄】にも御記入願います。



【記事欄】

差し支えなければ、飼養頭数の増減理由等について、**該当する番号に丸印（複数選択可）をし、具体的な内容について記入**をお願いします。

○ 増加した理由

- 1 取引価格が堅調に推移しているため
- 2 後継者あるいは必要な労働力が確保できたため
- 3 出荷のタイミング等により一時的に飼養頭数が減少していたが、回復したため
- 4 豚熱等の発生による殺処分があり飼養休止状態となっていたが、再び飼養を開始したため
- 5 その他

（具体的な内容）

○ 減少した理由

- 6 取引価格の低迷のため
- 7 後継者不足、労働力不足のため
- 8 生産コストの上昇が経営を圧迫したため
- 9 出荷のタイミング等により一時的に飼養頭数が減少したため
- 10 豚熱等の発生により殺処分となったため
- 11 その他

（具体的な内容）

○ その他

- 12 過去1年間に農場を新設又は増設した



【連絡先】

